

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	磐田市	代表者名	草地 博昭		
担当者部署	DX推進課	連絡先電話番号	0538-37-4818		
担当者役職	主査	担当者氏名	松下 隆	連絡先E-mail	joho-seisaku@city.iwata.lg.jp
住所	438-8650 静岡県磐田市国府台3-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 理栄
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	窓口体験調査の報告会を実施し、磐田市の課題を示してくれた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年8月10日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	17時00分	
			活動時間（分）	240	
3-2. 派遣場所	会場名	磐田市役所	最寄駅	JR磐田駅	
	所在地	静岡県磐田市国府台3-1	最寄駅からの交通手段	公用車による送迎	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	窓口改革を担当する市役所職員	20 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	「書かない窓口」を導入することが決まっているが、知識や経験のある職員がおらず、課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	「書かない窓口」を導入し、市民、職員に優しい窓口を実現する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	「書かない窓口」の導入にあたり、7/6に実施した窓口体験調査の報告会を実施し、書かない窓口導入に向けたアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	「書かない窓口」導入に向けた本市の課題が明確になった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	体験調査報告会で明確になった課題を踏まえ、「書かない窓口」導入を進めていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 支援の内容が、窓口体験調査報告会を開催し課題とりまとめ、今後の進め方を明確にするものであったため、アンケートは行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	窓口改革を実施し、「書かない窓口」を導入する	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

